

2017 社会保障 フォーラム

セーフティネットは機能しているか

介護保険改正による歪み、様々な理由による介護離職の拡大、年金制度見直しの中で高齢世帯の生活困難、子どもの貧困、居場所のない少女たちの存在……。他方、「社会保障の充実」の言葉と裏腹に自助・共助が強調され、基本に据えるべき公助が後回しにされています。持続可能な共生社会を実現するには、セーフティネットを機能させる必要があります。今回も各分野の専門家からお話しいただき、共に学び、自治の現場で実践していくためのフォーラムを開催します。

とき **10**月**27**(金)・**28**(土)日

ところ 婦選会館 最寄駅: JR線/代々木駅北口、新宿駅南口・新南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

第1日 10月27日(金) 開場12時
13:00~13:20 ガイダンス・主催者あいさつ
13:20~14:50 講演 **居場所のない少女たちを支援して** Colabo代表 **仁藤夢乃氏**
15:00~17:00 基調講演 **年金制度の現状と課題** 株式会社日本総合研究所調査部 主席研究員 **西沢和彦氏**
17:15~18:30 交流会(自由参加)

第2日 10月28日(土) 開場8時30分
09:00~10:30 カレントピックス **憲法「改正」の動きを問う** (講師交渉中)
10:40~12:30 講演 **ケアラー支援法の必要性と実現に向けて** 日本女子大学教授 **堀越栄子氏**
13:20~15:30 講演 **また変わる! 介護保険** 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰 **小竹雅子氏**
15:30~15:50 ディスカッション
15:50 閉会

- 参加費▼18,000円(税込。現職議員以外の方は8,000円)、交流会参加費は別途2,500円(税込)
- ▼参加希望の方は**10月20日(金)まで**に、①参加費の申し込み、②裏面の申込用紙の送付をもって受付いたします。**払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。**
- ▼振込み先
郵便振替 口座番号 00170-0-561022
口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター
ゆうちょ銀行 ○一九店 当座 0561022
口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター
三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店(普)5562919
口座名 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター
- ▼原則2日間通してのお申し込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。
- ▼納入後の参加費はお返できません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムへの振り替えが可能です。
- ▼お申込み、お問い合わせは下記まで。
- ▼講師の都合などにより変更がある場合は、ご了承ください。



主催:公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

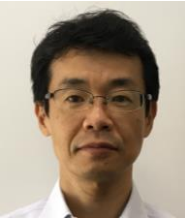
2017 社会保障フォーラム：セーフティネットは機能しているか

講師プロフィール



仁藤夢乃(にとう ゆめの)氏

1989 年生まれ。一般社団法人 Colabo 代表。中高時代に街をさまよう生活を送った経験から、女子中高生の支援を行っている。夜間巡回や声掛け、相談／シェルターでの一時保護や宿泊支援／食事・風呂・文具・衣類の提供／児童相談所や病院、警察などへの同行支援／自立支援シェアハウスや虐待や性暴力被害を経験した少女たちの自助グループの運営を行っている。著書に『難民高校生』（ちくま文庫）、『女子高生の裏社会』（光文社新書）がある。



西沢和彦(にしざわ かずひこ)氏

1989 年一橋大学社会学部卒業。同年三井銀行（現三井住友銀行）入行。2001 年株式会社日本総合研究所入所、現在に至る。この間、法政大学大学院社会科学研究所修士（経済学）。社会保障審議会年金部会委員（2006～2009 年）。現在、社会保障審議会年金事業管理部会委員。主な著書『年金制度は誰のものか』（日本経済新聞出版社、第 51 回日経・経済図書文化賞）、『税と社会保障の抜本改革』（日本経済新聞出版社、第 40 回日本公認会計士協会学術賞）。



堀越栄子(ほりこし えいこ)氏

介護者にも支援が必要であること、それをバックアップする法制度の必要性を痛感しています。日頃は大学で教員として研究教育に携わるとともに、「日本ケアラー連盟」代表理事、「認定 NPO 法人さいたま NPO センター」代表理事、「さいたま市男女共同参画社会推進協議会」委員その他複数の団体に関わりながら、市民生活の基盤に関わる領域（たとえば介護や市民自治）について、市民が「達成感や幸せの実感もてる暮らし（方）」はどのようなシステムや地域社会で実現できるのかを模索し、仲間と実践しています。



小竹雅子(おだけ まさこ)氏

2003 年より「市民福祉情報オフィス・ハスカップ」主宰。メール・ミニコミ『市民福祉情報』をネットで無料配信（17 年 7 月現在、922 号。配信数 1600 件）。04 年～社会保障制度などをテーマにセミナー開催中。『ハスカップ・レポート』を随時発行。06 年～首都圏の市民活動グループと「介護保険ホットライン」を毎年開設。13 年秋、14 年春には弁護士と「介護労働ホットライン」を開設。著書『介護情報ハンドブック』（02 年）、『こう変わる！ 介護保険』（06 年）、『介護情報 Q & A 第 2 版』（09 年）、『介護認定』（09 年、共著）。市民福祉情報オフィス・ハスカップ編『おかしいよ！ 改正介護保険』（06 年、現代書館）ほか。最新刊『もっと変わる！ 介護保険』（14 年 8 月発行）。特記以外、岩波ブックレット。

-----参加申込書（お寄せいただいた個人情報は財団からのご案内に利用させていただきます。）-----

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	
	メール		
	受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある	
現職議員	自治体名		
	所属会派	党籍 有() ・ 無	
議員以外	活動など()		
参加費	郵便振替 ・ その他()		
払込方法	払込金額	参加費(18,000 円/8,000 円) + 交流会参加費(2,500 円) = 円	
	*参加費:現職議員以外は 8,000 円		
参加の きっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP その他()		
備考(要望など)			

FAX 03 - 5388 - 4633